

令和5年度 学校経営方針

鎌ヶ谷市立第二中学校

1 学校教育目標

心豊かで、たくましく生きる生徒の育成

2 目標とする生徒像

- (1) 進んで、学習する生徒
- (2) 健康で、よく働く生徒
- (3) 礼儀正しく、思いやりのある生徒

3 理想とする教師像

「温かくも厳しく、厳しくも温かく」

- (1) 明るく積極的に生徒と向き合う教師
- (2) 授業を大切にする教師
- (3) 人として信頼される教師

4 経営の方針

知・徳・体の基礎を身につけ、自己の将来と郷土の豊かな将来を創造できる生徒を育てる。

- (1) 生徒に成就感や達成感を実感させ、自ら学ぶ意欲や態度を育てる。
- (2) 教師間の信頼を高め、質の高い教師集団を構築する。
- (3) 保護者や地域の思いに耳を傾け、地域に信頼される学校の創造に努める。

5 経営の重点

(1) 学級経営の充実

- ・ 集団が一つの方向に向きまとまることにより、仲間関係が安定する。この結果、充実した学級経営が可能になる。
- ・ 生徒にとって、安心して生活のできる場であるよう、きめの細かい指導・助言を行う。

(2) 学びの充実

- ・ 学習に適した環境と教材研究の充実に努め、わかる授業の展開及び学習する楽しさを感じられる授業内容の実現に努める。
- ・ 自己有用感を育むために諸調査の実施をはじめ、主体的・対話的で深い学びへつながる授業の実現に向け、校内研修の充実を図る。

(3) 心の教育の充実

- ・ 道徳の授業や日々の生活の中で、人として身につけるべき道徳的価値観やマナーを指導するとともに、コミュニケーション能力の向上に努める。
- ・ 教育相談の日常化を図り、生徒の悩みや問題等について、早期発見・早期対応できるように努める。

(4) 生徒指導の充実

- ・ 日々の生活の中で生命尊重や人権尊重は最も重要であることを意識づけるなど、積極的な生徒指導に努める。
- ・ 問題行動や不登校の傾向が見られるときは、組織で対応を行う。その際、保護者や関係機関との連携を密にする。

(5) 特別支援教育の充実

- ・ 教職員自ら研修に努めるとともに、校内委員会等、組織を生かした支援体制を推進する。
- ・ 生徒個々の教育的ニーズに応じた個別の教育支援計画等を作成し、実効性を高める。

(6) 生徒会活動や部活動の充実

- ・ 生徒が自主的、実践的に活動できるよう、学校として共通理解を図った指導体制を構築する。
- ・ 生徒に成就感や達成感を味わわせるための機会や場を与え、協力し合って望ましい活動を進められるよう、適切な支援を行っていく。

(7) 危機管理の徹底

- ・ 常に先を見越した考えを持ち、事前対応を主とするとともに、報告・連絡・相談を徹底する。
- ・ 事件や事故等の発生時における迅速な対応と丁寧な指導を心がけ、その後、職員間で問題点を共有することにより、再発を防ぐ。